

「グローバル化時代の地域社会 第2弾」

—青森経済活性化提言—

拡大する市場経済のグローバル化が、日本経済全体だけでなく、直接・間接の違いがあれ、確実に地域経済としての青森にも影響を与えている。より具体的には、将来の海外需要が直接・間接的にも着実に増える傾向にある。そこで、特に、海外需要（高付加価値製品の輸出、農水産物の輸出、国際観光の促進等）を取り込むことは、青森経済界にとっては重要な経営戦略上の選択肢と位置づけられる。地域社会「青森」にとっても、IT革命に後押しされた市場経済のグローバル化への適切な対応は、企業だけでなく自治体行政にとっても喫緊の課題である。

そこで、今回開催される本セミナーは、次にあげる三つの目標を掲げる。1) 大学院における各専修分野（経営専修、経済専修、地域専修）の担当教員が、各自の専門的視点から「青森の課題」を示し、具体的解決策を提起する。2) 「地域社会との対話・交流」を進め、研究成果を現実に活かす契機とする。3) 「地域に開かれた大学」として、地域固有の課題を地域住民の視点から捉え直すことによって止揚された、より高度に専門性を活かした地域貢献を目指す。以上が本大学院公開セミナーの目標である。



[第1回] 6/10(火)	演題:「 景気対策と成長戦略はどう違うか?—地域政策への視点 」 [講師] 青森公立大学 教授 木立 力
[第2回] 6/24(火)	演題:「 グローバル化と社会保障—医療・福祉従事者のグローバル化を中心に 」 [講師] 青森公立大学 准教授 大矢 奈美
[第3回] 7/1(火)	演題:「 自治体経営の戦略的課題—地域イノベーションに向けて— 」 [講師] 青森公立大学 教授 遠藤 哲哉
[第4回] 7/8(火)	演題:「 青森の地域づくりと海外とのネットワーク形成 」 [講師] 青森公立大学 教授 佐々木 俊介
[第5回] 7/15(火)	演題:「 地域経済活性化と経済学、経営学、会計学の役割 」 [講師] 青森公立大学 教授 藤永 弘
[第6回] 7/22(火)	演題:「 競争社会から共創社会へ 」 [講師] 青森公立大学 教授 丁 圏鎮
[第7回] 7/29(火)	演題:「 消費税はどんな税金? 」 [講師] 青山学院大学 教授 堀場 勇夫・青森公立大学 教授 河野 秀孝

いずれの回も

[時間] 18:30~20:30 [場所] フェスティバルシティ・アウガ(カダール研修室)

[対象] 一般社会人、学生(高校生、学部学生、大学院生) [定員] 各回50名(先着順)

申込方法

開催日前日(必着)までに受講を希望する演題名・開催日と、住所・氏名(ふりがな)・性別・年齢・連絡先の電話番号を明記し、郵送、FAXまたはE-mailでお申し込みください。

青森公立大学地域研究センター 公開講座係

郵送先: 〒030-0196 青森市大字合子沢字山崎153番地4

FAX送信先: 017-764-1564

E-mailアドレス: kouza@bb.nebuta.ac.jp



※おおもり県民カレッジ単位認定講座。各2単位(計7回)

[主催] 青森公立大学 [URL] <http://www.nebuta.ac.jp/>

[TEL] 017-764-1561 (受付時間: 8:30~16:30) ・ 017-718-7025 (受付時間: 16:30~21:30)

[後援] 青森商工会議所 [URL] <http://www.acci.or.jp/>

「景気対策と成長戦略はどう違うか?—地域政策への視点」

〔講師〕青森公立大学 教授 木立 力

〔第1回〕
6/10火

国や地域において雇用や所得の改善は、政権支持率を左右する最重要課題である。ところが、雇用や所得の改善と言っても景気が良い場合と経済成長している場合とがあり、経済学で両者は明確に区別されているにもかかわらず、報道は不十分で政権選択の誤りにもつながっていると思われる。失われた20年の間、景気対策は行われたが成長政策は不十分であり、現政権も同様である。この講座では、景気対策と成長戦略の処方箋の違い、結果の違い、見分け方、について経済学的に平易に解説します。

「グローバル化と社会保障—医療・福祉従事者のグローバル化を中心に」

〔講師〕青森公立大学 准教授 大矢 奈美

〔第2回〕
6/24火

一般的に、社会保障は国内政策であり貿易政策のような国際的な政策とは対極にあるものという位置づけがなされてきました。しかし、グローバル化が進むなか、日本だけではなく各国の社会保障制度は貿易政策や国際経済の影響を受けるようになっていきます。今回は社会保障がグローバル化によってどのような影響を受けているのか、またその一例として青森でも重要な課題となっている医療・福祉に携わる人材の供給についてEUの事例などを見ながら考えます。

「自治体経営の戦略的課題—地域イノベーションに向けて—」

〔講師〕青森公立大学 教授 遠藤 哲哉

〔第3回〕
7/1火

地域社会の問題を解決し、より良い社会を構築していくためには、市民のニーズに応え、住民参加の下、地域イノベーションのプロセスが重要である。グローバル化した経済、社会の中で、魅力的な地域再生のビジョンと「物語」を構築しつつ、地域イノベーションをどう展開していけるか。イノベーションを行い易くする自治体経営のシステム改編、地域・組織文化の醸成、産官学連携など、国内外の事例を踏まえて検討していく。

「青森の地域づくりと海外とのネットワーク形成」

〔講師〕青森公立大学 教授 佐々木 俊介

〔第4回〕
7/8火

現在TPPの議論が盛んに行われ、青森県でもりんごの輸出に取り組むなど海外諸国との関係を巡ってさまざまな議論や動きがでています。大きな枠組みの議論や当面の個別の取引などの話とは別に、長期的には各国々との安定的な結びつき（ネットワーク）を形成して行くことが非常に重要です。そのために具体的な取り組みの着実な積み上げが不可欠です。今回は、地域づくりを通してどのような可能性や課題が考えられるのか、と一緒に考えていきます。

「地域経済活性化と経済学、経営学、会計学の役割」

〔講師〕青森公立大学 教授 藤永 弘

〔第5回〕
7/15火

わが国は、「中央集権体制」から「地方分権体制」への移行の中で、「地域経済の活性化」や「地方財政の健全化」に向けての議論が盛んに行われている。しかし、長期期間続いた「中央集権体制からの脱皮」と新たな地方分権化体制の下での「自治体経営体制の確立」に悪戦苦闘しているといっても過言でない。本学大学院公開講座では、「経済学」、「経営学」、「商学」、「会計学」の学術研究の動向を踏まえながら、その学術研究の成果を取り込んだ「地域経済活性化」と「地方財政健全化」について論ずることとする。

「競争社会から共創社会へ」

〔講師〕青森公立大学 教授 丁 圏鎮

〔第6回〕
7/22火

地域社会がグローバル時代に対処しながら更なる発展を成し遂げるためには、「競争社会から共創社会へ」というパラダイムの転換が必要である。厳しい競争と激しい変化のなかで、地域社会は業種間、地域間、国家間の境界を取り払って、互いに共生できる共同体を築いていかなければならない。そこで、今日の地域社会に求められる創造的リーダーのあり方とその役割について考察する。

「消費税はどんな税金?」

〔講師〕青山学院大学 教授 堀場 勇夫・青森公立大学 教授 河野 秀孝

〔第7回〕
7/29火

今回のセミナーでは、今話題の消費税・地方消費税と地域の生活あるいは地方財政との関係について報告する。第1に、そもそも消費税・地方消費税とはどんな税金なのか、また何故世界中の多くの国でこのタイプの税が採用されているのかについて報告する。消費税はグローバルな競争の中で生まれた租税である。第2に、消費税・地方消費税は、地域とどのような関係があるかについて、また今回の8%への税率改定が地域社会や人々の生活とどのような関係を持っているかについて報告する。